



病院NEWS

no.
332
2012
02/01

The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 千田 彰一



香川大学附属病院で美容外科を始めました

形成外科・美容外科長

田中 嘉雄

平成23年12月1日に香川大学医学部附属病院において美容外科外来が始まりました。毎週月曜日の午後2時から4時までの診療で、原則予約が要ります。

診療は主に体表面の抗加齢（アンチエイジング）治療です。手術は中央手術室において局所麻酔で可能な範囲の手術（まぶたのタルミとり、ふたえまぶた形成術、ミニフェイスリフト（ほほのタルミとり）、脂肪注入など）を行います。

またCO2レーザーによる母斑・ほくろ治療、ジェントルレーザーによるシミ取り・脱毛、薬剤によるシミ治療などの治療も行います。診察と治療費は自費で、保険の適応とはなりませんのでご注意ください。

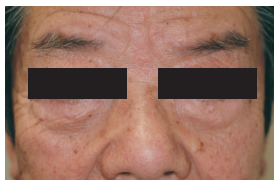
日本の美容外科は、一昔前には美容整形と通称されていました。一部では医学的常識からはずれた有害な治療も行われていた事実もあり、世間からは色メガネで見られていた歴史もあります。しかし、医学的に適切に行われる限り、美容外科も本来の医療の一分野であることは世界的にみても疑う余地はありません。外科系の医療にはいろいろの面があります。①命を救う、②病気の状態を治す、③命とは直接関係は少ないが身体各部の不自由を治す、④命とは無関係だが身体

各部の形を整えて心を豊かにする（＝美容外科）、などの段階があります。命が助かり、不自由ができるだけ取り除かれ、更に形もより美しく整えることができれば、これに勝る医療はないはずです。ところが、わが国では“美しい、整った、形がきれい”、という表現には医師にも患者さんにも何となく抵抗があったし、今もあるように思います。ほくろやシミをとってほしいけど、言い出すのが恥ずかしいという年代の方や、ふたえまぶたの手術を希望していてもストレートに言い出せないときに、逆まつげ気味だから治したいのですか、と問い返すと安堵して自己納得される向きもあります。多くの人と接触しなければならない社会では、他の人から見える部分の形の不具合は、こころの明暗に微妙に影を落とします。特に顔については、美しくありたいと思うのは誰も抱く願望でしょう。命とは無関係だが身体各部の形を整え、それによって気持ちが明るく、心も豊かになるようにするのが美容外科の本来の目的です。残念ながらこの分野の“医療”は、保険診療が認められず自費診療となりますが、安心して総合病院で美容外科を受けて頂くために香川大学附属病院で美容外科を始めることになりました。多くの方の受診をお待ちしています。

① 下まぶたのタルミとり



治療前



治療後

② しみの治療

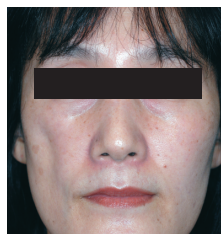


治療前

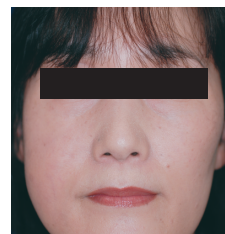


治療後

③ 脂肪移植



治療前



治療後

④ 治療に使う機器



ジェントルレーザー
治療：しみ・脱毛治療



CO2レーザー
治療：ほくろ・母斑など

ドラマ等の影響もあり集中治療部(室)の知名度は少しずつ上がってきているのではないかと思いますがいかがでしょうか？

◆集中治療の歴史

集中治療という響きは、先進医療機器を用いた治療というイメージがあるかと思いますが、歴史をひもとくと古くからその概念はありました。皆さんもよくご存じのナイチンゲールが、1850年代にクリミア戦争において傷病兵の看護、衛生管理を行い、救命率を上げたことがと集中治療の最初とも言われております。人工呼吸器が登場し、広まり始めたのはそれから約100年後、北欧でポリオが大流行した1950年代でした。我が国では1960年代に第1号の集中治療室が設立されその後全国に広がり現在に至っています。

◆香川大学医学部附属病院の集中治療部

さて当院の集中治療部ですが、集中治療部ICUと救命センターICUが分かれて運営することになり今年で9年目になります。集中治療部ICUでは合併症や大きな手術で術後のリスクが高い患者さんや手術中に急変した患者さん、臓器移植後の患者さんなど手術に関連した患者さんを主に受け入れています。加えて、病院内で急に状態が悪くなった患者さん、特に感染症が重症化して重度の臓器障害を発症した患者さんの治療も行っています。

分割運営当初は1年間に約150人前後の受け入れでしたが、最近では患者さんの数は年間250人前後にまで増えてきました。これらの患者さんの呼吸・循環のサポートを中心とした全身管理をしっかりと行い、手術後の痛みのコントロール、障害を受けやすい臓器を保護といった治療を行っています。以前は合併症のため手術を制限される事があったような患者さんの受け入れ体制を強化することで、多くの診療科の手術の手助けになればと思っています。

◆集中治療は怖い？

“治療の為に必要なのは分かるが、人工呼吸など集中治療の治療は怖い”というイメージがあるかもしれません。昔は、病気を治すことに一所懸命で、

患者さんの苦痛や不安といったことに関してあまり重きを置いてきませんでした。これは反省しなければいけないことで、当院集中治療部では治療と共に患者さんやご家族の苦痛、不安を軽減することも積極的に行うように心がけています。①適度な鎮静を保つこと ②説明を行うこと ③苦痛を伴う治療は可能な限り短く これらのことを念頭に治療させていただきますのでご安心頂ければと思います。

一例を挙げますと、皆さんが不安に思う人工呼吸ですが新しい鎮静法と患者さんに優しい人工呼吸法を積極的に取り入れ、人工呼吸を行っている状態でも苦痛なくご家族とコミュニケーションがとれるようにまできています。ただ、これらのことも医療者側の独りよがりにならないよう、患者さんの声に耳を傾け改善していきたいと思いますので、ご意見お寄せ下さい。

◆スタッフ

集中治療部では麻酔科医を主体とした集中治療医を中心に診療科主治医、看護スタッフで診療を行っています。主治医の先生方とカンファレンスを行い、治療方針を立て診療を行っていますので、集中治療部(室)にいる間は集中治療医を主治医だと思い、そして看護スタッフを頼りにして下さい。集中治療部では患者さん2人に1人の看護師が、24時間体制で常にきめ細かい看護を行っています。それぞれが、患者さんやご家族に親身になり患者さんの目線で優しい看護を行っています。認定看護師等専門性の高いスタッフもおりますし皆頼りがいのあるスタッフ達ですのでどうぞ安心して治療をお受け下さい。

◆再開発

香川大学医学部附属病院では、再開発の構想のなかで集中治療部も増床する予定です。現在は病床数の関係で入室を制限している状況ではありますが、新病院ではその受け入れを増やし、多くの患者さんに質の高い医療を提供していきたいと思っています。

最後になりますが診療の質向上のため、今後もしもご支援、ご意見頂ければ幸いです。

去る11月21日(月)に約300人の参加者を得て、午後1時30分、室戸岬沖を中心としたマグニチュード8(震度7)の南海地震を想定した防災訓練が実施されました。今回の訓練は、アクションカードによる被害状況の把握、火災による入院患者の避難誘導訓練を実施しました。また、近隣の被災者を想定したトリアージ訓練も行いました。

今回の訓練を基に、実際にこのような災害に見舞われたときの対応について教職員に啓蒙していきたいと思います。



11月の岩手県陸前高田市を訪れて

整形外科 木原 伸介

11月14日から18日の一週間、被災地への医療支援として、岩手県立高田病院で勤務して参りました。まず市街地の風景に衝撃を受けました。家屋が姿を消し、大きな建造物は辛うじて形を留めていますが、電柱、信号もありません。目立つのは瓦礫の山と重機、まるで映画のような荒廃した世界が広がっていました。高田病院も津波により4階まで浸水したため、プレハブの仮設病院での診療となります。常設科は内科・小児科・眼科・整形外科で、さらに外勤の先生がいらして、呼吸器外科・脳神経外科などの外来診療も行われています。整形外科の診療内容は外来と訪問診療で、1日に50人程度を診察します。対象は主に高齢者の慢性疾患で、保存的加療の可能な骨折などが数例でした。



旧高田病院の屋上より
海までの間にあった市街地は消滅している。

震災時の話を患者さんから聞く機会がありましたが、「いつの日か地震が来ることも、津波が来ることも暮している人間はみんな知っていた。ここに生きている以上、仕方がないことだと考えてきた。ただ、こんなに酷いとは知らなかった。」と、今回の震災がいかに想定を超えたものであったか話してくれました。地震、津波に負けず、乗り越えて生きる患者さんと支えていく医療スタッフの明るさ、強さが印象に残った一週間でした。すでに震災から1年近くが過ぎますが、旧市街地は未だ瓦礫の山であり、地盤沈下した土壌には海水が貯まり、漁船が陸に転がっています。復興にはまだ多くの時間と人手が必要だと感じました。

年満月(としみづき)の院内イベント(平成23年度)

患者サービス課

12月14日(水)午後6時30分から第21回クリスマス音楽会を開催しました。会場の外来診療棟1階玄関ホールに設けたステージは一足早いクリスマスの賑わいとなりました。司会は病棟看護師2人が務め、千田病院長の開会の挨拶で始まり、5組の出演者とサンタ、トナカイに扮した4人の検査部職員が、入院患者さん達の気分転換を図ってくれました。1組目は放射線部の歌姫がソプラノ独唱、2組目は通院患者のお二人が歌謡曲、童謡を、今井田教授が自らタクトを振った3組目の音楽隊が歌と三味線を交えた弦楽器演奏を、4組目はさぬき市志度音楽ホールを活動拠点にしているコーラスグループが混成三部合唱を披露しました。恒例のトリを務めた看護部新人合唱隊27人は、フレッシュな歌声と振り付けで会場に賑わいと暖かい空気を届けました。阪井看護部長の挨拶で締めくくった70分間はあっという間のひとときでした。また、12月12日(月)から16日(金)まで第20回職員作品展覧会を催しました。見学者から「かわいかった、ステキ、心がなごんだ」といった感想を頂きました。



外来受診の予約について

患者サービス課

本院では、**電話による初診・再診とも外来受診予約は行っておりません。**予約方法は、(1)地域の医療機関から地域連携室を通じFAX予約をする方法 (2)診察時に主治医が次回受診日の予約をする方法です。(1)の「予約」がなく「紹介状」だけお持ちの方、「予約」も「紹介状」もない方は、診察まで時間がかかります。再診の場合、予約のない場合は来院の上、11:00までに受付けして下さい。

小児病棟のクリスマス会について

総務課

昨年12月20日(火)、プレイルームにて小児病棟に入院されている子どもたち限定のクリスマス会が開催されました。看護師からのあいさつの後、看護学生によるエプロンシアター、子どもたちによる合奏、医師・看護師によるアンサンブルがあり、手拍子とともに大いに盛り上がりしました。その後、サンタに扮した千田病院長より小児病棟に入院している子どもたち一人一人にクリスマスプレゼントが配られました。子どもたちは、大変喜んでいました。



平成23年秋の叙勲について

総務課

平成23年秋の叙勲(11月3日付け)において、放射線部診療放射線技師の楠原俊明氏(元放射線部技師長)が保健衛生功労者として瑞宝双光章を受章されました。楠原氏は放射線関係業務に長年にわたり尽力したことが評価されたものです。この受章をうけて、11月15日(火)、千田病院長に受章報告がありました。



左より、千田病院長、楠原氏

イベントカレンダー H24.2月～H24.4月 予定表

日時	時間	場所	名称及び内容	担当	担当
2/4 土	10:00～11:30	香川大学生涯学習教育研究センター	香川大学公開講座 第3回「疼痛管理」	手術部	(087)832-1273
2/4～5 土日		岡山大学医学部臨床第二講義室	第57回日本臨床検査医学会中国・四国支部総会 第152回日本臨床科学会中国支部例会・総会 第22回日本臨床科学会四国支部例会・総会 第8回合同地方会	検査部	(087)891-2278
2/8 水	19:00～20:30	子どもと家族・こころの診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族・こころの診療部	(087)891-2420
2/18 土	9:00～10:00	香川大学病院医学部手術室	香川大学公開講座 第4回「手術室の概説と見学」	手術部	(087)832-1273
2/18 土	9:20～16:50	アルファあなぶきホール	第8回緩和医療に関する集中セミナーin香川	腫瘍センター	(087)891-2075
2/19 日	9:00～13:00	ロイヤルパークホテル高松	香川腎臓科カンファレンス総会	病理部	(087)891-2305
3/3 土	午後予定	全日空ホテルクレメント高松	香川産科婦人科学会 地方会	周産期女性診療科	(087)891-2174
3/5 月	18:00～19:00	管理棟4階会議室1	緩和ケア学習会「症例検討会」	腫瘍センター	(087)891-2054
3/10 土	17:00	アルファあなぶきホール	第51回 日本皮膚科学会香川地方会	皮膚科	(087)891-2159
3/11 日	13:00～15:30	土庄町中央公民館	耳の日記念講演会	耳鼻咽喉科	(087)891-2214
3/14 水	19:00～20:30	子どもと家族・こころの診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族・こころの診療部	(087)891-2420
3/16 金	14:00～16:00	患者図書室オリブの郷	がん患者サロン	腫瘍センター	(087)891-2363
3/19 月	18:00～19:00	臨床講義棟1階	NST勉強会「TPN」	腫瘍センター	(087)891-2054
4/11 水	19:00～20:30	子どもと家族・こころの診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族・こころの診療部	(087)891-2420

看護職員募集

中途採用者随時募集

助産師・看護師免許を有し、夜勤が可能な方

お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

外来駐車場は患者さまのもの!!
駐車ルールを守りましょう!!

編集委員会：乾(病棟)、堀川(検査)、加藤(放射線)、鬼村(患者サービス)、
(50音順) 白神(麻酔)、林(総務)、芳地(薬剤)、舩形(外来)、松浦(管理)、
松本(看護)、森本(看護)、横井(情報) (委員長 千田病院長)